

§37.

もう連鎖は怖くない

— 多様なパターンを制覇する

ターゲット英文 37

Apparently, the main reason for not informing the person that they have a disease **from which it is almost certain they will not recover**, is to spare them worry and distress about a condition **it is presumed they can do nothing about**.

[北九州市立大]

notes ▶ is の前のカンマについては §19 を参照

関係詞は全体的に見て苦手な学習者が多い項目ですが、その中でも特に苦手意識を持たれがちなのが、「連鎖関係詞(節)」と呼ばれる構造です。「連鎖関係詞節」と言うと、the man who I think is the richest in the world (世界で一番お金持ちだと私が思う男性) のような **who [which] I think + V** という構造のことだと思っ方が多いかもしれません。

もちろんそれも含まれるのですが、連鎖関係詞節にはそれ以外にも様々なバリエーションがあります。ターゲット英文37にも連鎖の構造が使われていますが、正しく読み取れるでしょうか。なかなか難しい英文です。この英文を正しく理解するには連鎖の構造の正確な知識が必要です。本項ではこの連鎖構造にスポットライトを当てて詳しく見ていきましょう。

まず、準備として、関係詞の基本的な構造を復習します。すでに §14、§30 で説明した内容ですが、もう一度繰り返しておきましょう。

the man who I met ϕ in the park yesterday (昨日公園であった男性)

このフレーズにおいて、who から yesterday までが関係詞節ですね。who は関係代名詞で、関係詞節内で名詞としてふるまっています。そのため、それに対

応する名詞の位置が節内で空所になっています(この例では met の目的語の位置。これまでの項同様、わかりやすいように関係詞節内の空所は ϕ という記号で表記します)。つまり、もともと I met the man in the park yesterday という構造の the man が who に置き換わって節の頭に移動した、と考えましょう。

一般化すると、関係代名詞節の構造は、先行詞に当たる名詞句が関係代名詞に置き換わり、節内のもとの位置から抜き出され、節の頭に移動した、という理解です。関係副詞節の場合は、名詞句が副詞句になっただけで、基本的な考え方は全く同じです。例えば、

the house where I was living ϕ temporarily (一時的に住んでいた家)

においては、where から temporarily までが関係詞節で、living の後ろに in the house という副詞句が抜けているのです。

さて、以上のことを踏まえると、「連鎖関係詞節」は「**that 節内から要素が抜き出される構造**」とシンプルにまとめることができます。以下の例でそれを具体的に説明しますが、わかりやすいように、関係代名詞を太字で表し、先行詞に点線を施し、that 節を後続させる表現をイタリック体で示しています。

(1) Archaeologists reported the recent discovery of a bone flute and two fragments of ivory flutes **that they said ϕ represented the earliest known example of music-making in Stone Age culture.** [文教大]

「考古学者は骨製フルート1つと象牙製フルートの破片2つを最近発見したことを報告した。彼らが言うには、それらは石器時代文化における音楽制作の例として知られる最初期のものであるそうだ」

notes ▶ represent の用法については §13 を参照

関係詞節内の空所が say という動詞の目的語に当たる that 節内の主語です(念のため申し上げておきますが、太字の that は関係代名詞の that です)。このように、that 節内の **S が抜き出される場合は必ず that が省略**されます(× they said that represented とはならないということです)。例を追加しましょう。

(2) I see two of my worlds coming together **that I had thought ϕ were as far apart as they could be.** [法政大]

§37.

もう連鎖は怖くない